

日立エコキュートの対象機種導入で

給湯省エネ2026事業の補助金を受けられます!

2026年度も高効率給湯器の補助金が決定しました! 省エネ性能の高いエコキュート購入のチャンスです。



給湯省エネ
2026事業

- 名称…………… 高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金(給湯省エネ2026事業)
- 予算…………… 570億円(令和7年度補正予算:経産省)
※うち、36億円については、電気蓄熱暖房機および電気温水器の撤去に対する補助を予定。
- 対象期間…………… 契約期間 着工日以前
着工期間 2025年11月28日 以降
※着工時期に疑義がある場合、追加調査等の対象になることがあります。
交付申請期間 申請受付開始～予算上限に達するまで
(遅くとも2026年12月31日まで)^{※1} ※1 締切は予算上限に応じて公表します。
- 対象給湯設備… ①エコキュート ②ハイブリッド給湯機 ③家庭用燃料電池
- 申請手続き…………… 補助事業者が交付申請を行い、交付された補助金を消費者に還元
(補助事業者は、予め給湯省エネ事業者としての登録が必要)

日立エコキュート
補助金ページは
こちら

※情報は随時更新します。



給湯省エネ2026事業は、家庭のエネルギー消費で大きな割合を占める給湯分野について、高効率給湯器の導入支援を行い、その普及拡大により、「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」の達成に寄与することを目的とする事業です。

補助額 最大 **12万円/台**

日立エコキュートの対象製品と補助額は裏面をご確認下さい。

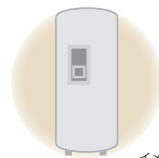
基本要件	7万円/台
加算要件 (高効率)	10万円/台



電気温水器を
撤去する場合

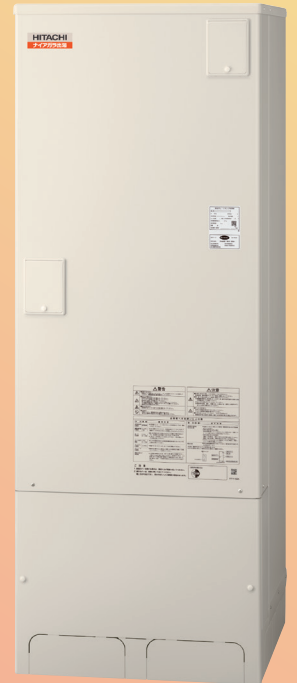
2万円/台

※エコキュートの撤去は
加算対象外

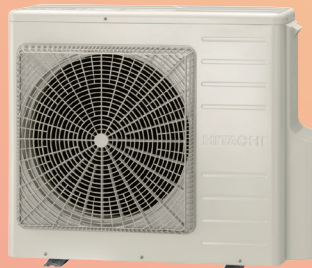


電気温水器
イメージ

日立エコキュート
公式ホームページは
こちら



日立エコキュート
ナイアガラ出湯
水道直圧給湯



※システム写真はBHP-FV37XDです。貯湯ユニットの写真は、脚カバー(別売)装着品です。

補助額	要件内容	日立エコキュート対象機種の説明
基本要件 7万円/台	省エネ法に基づくトップランナー制度における目標年度2025年度省エネ基準を満たし、インターネットに接続可能で、翌日の天気予報や日射量予報に連動することで、昼間の時間帯に沸き上げをシフトする機能を有する機種	省エネ基準達成率 100%以上で、日立エコキュートアプリ対象機種に下記①～③のいずれかを設置した場合(薄型タンクは対象外) ①無線LAN対応リモコン(Xシリーズのみ) ②無線LANアダプター付属リモコン ③インターホンリモコンに別売の無線LAN接続用アダプターを設置
加算要件 (高効率) 10万円/台	上記(基本要件)を満たし、補助要件下限の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ない機種	上記(基本要件)を満たし、省エネ基準達成率 105%以上の機種

日立エコキュートアプリ

スマートフォンで、外出先からも給湯の操作や確認ができます。

- 遠隔操作 ●GPSおかえり連絡 ●コンシェルジュ
- 太陽光発電利用沸き上げ(自動) ●見える化 など

※インターネット接続環境と無線LAN環境が必要です。

イメージ

アプリ
詳細は
こちら



関連部品(日立純正品)

※フルオート薄型タンクを除く

無線LAN対応リモコン(別売)
BER-X1FT

74,800円(税込)* 68,000円(税別)*

※台所リモコンと無線LANアダプターを一体化
(無線LANアダプターの埋込工事は不要です)



補助金申請におすすめ!

日立エコキュートの対象製品と補助額は裏面をご確認下さい。★希望小売価格です。

日立エコキュート 給湯省エネ2026事業対象製品

2024-2025年度発売(W・Xシリーズ)補助金対象製品

タイプ(一般地仕様)	システム型式	年間給湯保温効率(JIS)*1 または年間給湯効率(JIS)*1 JIS C 9220:2018	給湯省エネ事業対象		補助金 合計額
			基本要件	加算要件 (高効率)	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク(高効率)	BHP-FV46XD	4.1	●※1	●	10万円/台
	BHP-FV37XD	4.2	●※1	●	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク	BHP-F46XD	3.5	●※1	—	7万円/台
	BHP-F37XD	3.5	●※1	—	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク(耐塩害仕様)	BHP-F46XDE	3.5	●※1	—	
	BHP-F37XDE	3.5	●※1	—	
[水道直圧給湯]フルオート (高硬度水道水・井戸水対応)標準タンク	BHP-FW46XD	3.5	●※1	—	
	BHP-FW37XD	3.5	●※1	—	
[水道直圧給湯]フルオート (高硬度水道水・井戸水対応)標準タンク(耐塩害仕様)	BHP-FW46XDE	3.5	●※1	—	
	BHP-FW37XDE	3.5	●※1	—	
フルオート標準タンク (高効率)	BHP-FN46XU	3.7	●※1	●	10万円/台
	BHP-FN37XU	3.7	●※1	●	
フルオート標準タンク (FGタイプ)	BHP-FG46XU	3.5	●※1	—	7万円/台
	BHP-FG37XU	3.5	●※1	—	
フルオート標準タンク (FGタイプ)(耐塩害仕様)	BHP-FG46XUE	3.5	●※1	—	
	BHP-FG37XUE	3.5	●※1	—	
給湯専用(高効率) ※無線LANアダプター付属 台所リモコンが同梱されています。	BHP-ZN46WU	3.7	●	●	10万円/台
	BHP-ZN37WU	3.7	●	●	

タイプ(寒冷地仕様)	システム型式	寒冷地年間給湯 保温効率(JIS)*1 JIS C 9220:2018	給湯省エネ事業対象		補助金 合計額
			基本要件	加算要件 (高効率)	
[水道直圧給湯]フルオート 標準タンク(寒冷地仕様)	BHP-F46XDK	3.1	●※1	●	10万円/台
	BHP-F37XDK	3.2	●※1	●	
[水道直圧給湯]フルオート (高硬度水道水・井戸水対応) 標準タンク(寒冷地仕様)	BHP-FW46XDK	3.1	●※1	●	
	BHP-FW37XDK	3.1	●※1	●	
フルオート標準タンク (寒冷地仕様)	BHP-FG46XUK	3.1	●※1	●	
	BHP-FG37XUK	3.2	●※1	●	

*1年間給湯保温効率(JIS)、年間給湯効率(JIS)、寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、JIS C 9220:2018に基づき算出した値です。なお、寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、平成28年省エネルギー基準3地域の盛岡で使用されることを想定して算出した値です。地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

※1無線LAN対応リモコン(別売)または無線LANアダプター付属リモコン(別売)をお選びいただくか、無線LAN接続用アダプター(別売)をお使いください。

※上記以前に発売した製品については、ホームページで公開予定です。

2026年3月現在